

システム監査技術者 解答例

【午後 I】

問 1 (配点 50 点)

設問 1 (26 点:(i)6 点, (ii)10 点, (iii)10 点)

- (i) 権限者による本番リリースの承認
- (ii) 開発担当者の各環境へのデプロイ権限やアクセス可能な環境・期間を適切に設定する。
- (iii) デプロイや設定変更の事象を権限者に通知するように設定し、権限者がその内容を適時確認する。

設問 2 (7 点)

自動化の範囲から本番リリースを外す検討が適切に行われたか

設問 3 (7 点)

コーディングルールを標準化し、各開発チームへ浸透させる役割

設問 4 (10 点)

リリースサイクル短縮につながる開発担当者の権限設定を各スクラムマスターが適切に行えるか

問 2 (配点 50 点)

設問 1 (10 点)

統制の整備状況及び運用状況の観点からの評価が記載されていない。

設問 2 (10 点)

システム変更申請書を廃止し、変更管理ツール上で本番リリースの申請・承認を必須とする機能を使用する。

設問 3 (10 点)

監査対象期間において実施された全ての変更について、システム変更申請書が作成されていることを確かめた。

設問 4 (10 点)

インシデント発生時の原因調査及び緊急対応の業務

設問 5 (10 点)

情報システム部長の退職後、担当していた業務が適切に引継がれ遂行できる体制が整えられるか

問 3 (配点 50 点)

設問 1 (10 点)

a : 申請を一覧画面で承認できる機能を、各社の利用者の上長にも提供できるかどうか

設問 2 (10 点)

b : 見積りの結果をリーダーが承認した上で、必要リソースが一定規模を超える場合には部長も承認する

設問 3 (6 点)

c : 定型サービスマスターの改定通知の方法や更新の手順

設問 4 (6 点)

d : 各社へのサービス利用料の請求が適切に行われない

設問 5 (8 点)

e; 締切日変更の協議内容について技術管理部と経理部にヒアリングすること

設問 6 (10 点)

f : 主要な定型サービスについて、リードタイムの目標がサービスカタログに記載されるかどうか

以上